

仙台高等専門学校				総合工学科Ⅲ類（1年）										開講年度		令和04年度（2022年度）											
学科到達目標																											
学校の教育目標																											
1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成																											
2. 広く深い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成																											
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成																											
総合工学科の教育目標																											
1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成																											
2. 広い視野をもつ実践的で創造的な技術者の養成																											
3. 地域や国際社会に貢献できる技術者の養成																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
専門	必修	空間デザイン概論 A	0001	履修単位	1	2																小林 仁 飯藤 将之 坂口 大洋 伊師 華江 相模 誓雄 権代 由範 藤田 智己 吉野 裕貴 宮崎 義久 菊池 義浩					
専門	必修	空間デザイン概論 B	0002	履修単位	1	2																相模 誓雄					
専門	必修	総合工学基礎	0003	履修単位	4	4 4																佐藤 隆 野角 光治 山田 洋 北 宏之 島 飯藤 将之 伊東 航 熊谷 進 伊師 華江 武田 光博 吉野 裕貴 鈴木 知真 本間 一平					
専門	選択	総合科目 B デザインコンテスト	0004	履修単位	1	1 1																小林 仁					

仙台高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	空間デザイン概論 A	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	総合工学科Ⅲ類 (1年)			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	小林 仁,飯藤 將之,坂口 大洋,伊師 華江,相模 誓雄,権代 由範,藤田 智己,吉野 裕貴,宮崎 義久,菊池 義浩						
到達目標							
建築学の様々な分野の内容、及び現代の考え方と技術レベルそして次世代(Society5.0)に向けた課題を把握する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
建築学	建築学の分野がすべてわかる。			建築学の分野がおおよそわかる。		建築学の分野がわからない。	
関連する数理・データサイエンス分野のリテラシー	関連する数理・データサイエンス分野のリテラシーの概要を説明できる。			関連する数理・データサイエンス分野のリテラシーの概要を把握している。		関連する数理・データサイエンス分野のリテラシーが分らない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築学には構造や計画など様々な分野がある。各分野がどのようなものか把握する。併せて次世代(Society5.0)に向けて、関連する数理・データサイエンス分野のリテラシーの概要についても把握する。						
授業の進め方・方法	建築デザインコースの各教員が1コマを担当するオムニバス形式の授業です。 予習：毎回の授業前までに、授業で行う内容を考えて整理しておくこと 復習：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。						
注意点	授業スケジュールを把握しておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の全体像を理解する。		
		2週	建築って何		実例をもとに歴史的な経緯から建築の概念（定義）をつかむ。		
		3週	建築デザイン		建築デザインの役割、職種、実際のデザインプロセスについて把握する。また、関連する社会変化(Society5.0)とデータの活用領域及び活用の最新動向について把握する。		
		4週	建築材料		建築における材料学の位置付けと身近にある材料を知る。		
		5週	建築環境01		建築における温熱環境の位置づけを理解する。また、関連する社会変化(Society5.0)とデータの活用領域及び活用の最新動向について把握する。		
		6週	都市計画		都市計画やまちづくりを巡る現状や諸課題について理解する。		
		7週	建築構造01		建築物の構造の種類と特徴を理解する。		
		8週	建築構造02		建築物と地震の関係を理解する。		
	2ndQ	9週	建築環境02		建築における音環境の位置づけを理解する。		
		10週	建築デザインと錯視 復習：調査とまとめ（建築デザインにおける錯視の積極的利用について）		幾何学的錯視の基本図形を確認し、建築デザインとの関わりを考察できる		
		11週	建築構造03		免震、制震、耐震対策に特化した建築について理解する。		
		12週	建築史：相模：旧中沢家住宅の見学 復習：八力キを使った記録		歴史的建築がわかる。		
		13週	建築計画		建築計画分野の全体像の理解と日常生活における施設や場の役割を認識する。また、関連する社会変化(Society5.0)とデータの活用領域及び活用の最新動向について認識する。		
		14週	建築設計の体験		キャンパス内の居場所の設計を行うことで、建築設計の重要性、建築設計のプロセスを知る。また、建築設計分野でのデータを扱う。		
		15週	実際の建築現場における建設プロセスの見学		実際の建築の施工現場の見学を行い、建築施工の重要性と建築施工プロセスを知る。		
		16週	授業全体の振り返り		様々な建築分野の講義ポイントをレポートを作成し、個々の分野の意味を深く身につけ、学生相互で共有する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計

総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

仙台高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	空間デザイン概論 B		
科目基礎情報								
科目番号	0002			科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	総合工学科Ⅲ類 (1年)			対象学年	1			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	検定教科書「建築構造」実教出版							
担当教員	相模 誓雄							
到達目標								
1) 材料・形態の変遷及び建築の基礎を理解すること。 2) 木造建築物を構成する材料と部材、および全体にかかる力の流れを理解すること。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
部位名の理解	図を見て、構造部材の部位名を的確に答えることができる。			図を見て、主要構造部材の部位名を答えることができる。		図を見て、主要構造部材の部位名を答えることができない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	この科目は企業で建築設計監理を担当していた教員が、その経験を活かし、建築設計に必要な基礎的な知識について講義形式で授業を行います。 木造の住宅の基礎、軸組、小屋組。床組、仕上について学習します。							
授業の進め方・方法	毎回記入シートを配布する。部材の名称と働きを解説し、要点を板書する。記入シートに図を描いたり、板書を書き写したりして授業の要点をまとめ、自身のテキストブックを作成する。 予習：教科書を読んでくる 復習：記入シートを完成させる							
注意点								
授業の属性・履修上の区分								
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス、尺貫法			木造住宅の基本モジュールを理解する		
		2週	木構造の特徴・構造形式			木構造の特徴・構造形式について説明できる。		
		3週	木材の性質			木材の種類・性質について説明することが出来る。		
		4週	地業と基礎			木構造の地業と基礎を理解する		
		5週	軸組 1			軸組みの構法を理解している。		
		6週	軸組 2			軸組みの構法を理解している。		
		7週	おさらい			理解度の確認		
	8週	中間試験			理解度の確認			
	4thQ	9週	試験返却 (答え合わせ) 小屋組			和小屋と洋小屋の違いがわかる。		
		10週	床組			床組みの構法を理解している。		
		11週	階段、開口			引違戸と扉の取り付けを理解している。		
		12週	外部仕上げ			屋根の吹き方がわかる。 外壁の仕上げがわかる。		
		13週	内部仕上げ			床、壁、天井の仕上げがわかる。		
		14週	おさらい			理解度の確認		
		15週	期末試験			理解度の確認		
		16週	試験返却 (答え合わせ) まとめ					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	構造	建築構造の成り立ちを説明できる。		2		
				建築構造(W造、RC造、S造、SRC造など)の分類ができる。		2		
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	80	0	0	0	0	0	80	
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	